

日本万引防止システム協会 平成26年度通常総会  
議案書

日時:平成 26 年 6 月 3 日(火) 開催

場所:主婦会館プラザエフ 9階スズラン

日本万引防止システム協会

# 日本万引防止システム協会平成 26 年度通常総会開催概要

- 日時 2014 年 6 月 3 日 (火) 14:00～ (受付開始 13:30)
- 主婦会館プラザエフ 第 1・2 部 9F スズラン 第 3 部 8F スイセン  
東京都千代田区六番町 15 番地 TEL 03-3265-8111

## 第 1 部 総会 (14:00～14:50) <9 階スズラン>

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議案  
第 1 号議案：平成 25 年度事業報告、収支決算の件  
第 2 号議案：会費の継続の件  
第 3 号議案：平成 26 年度組織・人事の件  
第 4 号議案：平成 26 年度事業計画、収支予算の件
5. 閉会
6. 二つの調査報告

## 第 2 部 記念講演会 (15:00～16:50) <9 階スズラン>

1. “実態調査を店舗の万引対策に生かす”

香川大学 教育学准教授 大久保 智生 様

2. “正確な棚卸から始まるロス対策”

株式会社エイジス 常務取締役 近江 元氏 様

## 第 3 部 意見交換会 (17:00～18:30) <8F スイセン>

来賓挨拶、新役員挨拶ほか

# 日本万引防止システム協会

## <協会活動の主旨>

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために以下の活動を行う。

1. 万引防止システムの円滑な普及、発展に資する制度・政策・計画等を建議し、実行する。
2. 行政機関、関連団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整を行う。
3. 万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とした活動を行う。

## (第1号議案) 平成25年度事業報告、収支決算の件

### 1. 事業の概要

日本万引防止システム協会（略称 JEAS）は、お蔭様をもちまして設立13年目を迎えます。この間、会員の皆様をはじめ、関係省庁、関連団体の皆様のご支援とご協力をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

万引犯罪の状況ですが、警察庁の統計によりますと平成25年の刑法犯全体のうち、万引の占める割合が9.6%でした。平成2年の万引犯は約14万件で、刑法犯全体の4.8%だったものが、刑法犯認知件数が減り続ける中、相対的に万引犯の占める割合が高まっています。平成25年の万引の検挙・補導人員のうち、高齢者は30.9%で、総人口に占める割合25.1%を上回っています。万引品は、おにぎりやパン、総菜などの食料品でした。ほとんどの場合、お金を所持しているのに犯行を重ねています。

さらに深刻さを増しているのは、組織的大量万引の問題です。対策としては島根県のドラッグストアでは被害発生時の緊急連絡網がスタートしました。※1他の地域に広めるためには、企業間での万引犯罪情報などを共有する新たな取決めが必要になっています。

## <平成25年度活動の概要>

### 1 点目は、高齢万引者対策の向けてのハード対策

高齢万引者の多いスーパーマーケット協会やコンビニエンスは、EAS機器の導入が進んでいない業界です。同業界であってもEAS機器を導入している先進的なスーパーマーケットでは万引に起因する不明ロスが改善されています。その違いを明確するために平成25年10月に、第3回目となるユーザーのアンケート実態調査(回答数50社)とEAS使用企業のヒヤリング調査(回答数7社)を行い、政策・研究委員会にて、「2013年度 万引防止機器ロス対策報告書」を纏めました。

現在、街頭防犯カメラが助成事業の対象となっているため急ピッチで街頭防犯カメラの普及が進んでいます。残念ながらそれは店内の万引対策に役立つものではありません。実際に多くの店舗が万引による利益損失ならびに対策時の精神的苦痛に苦しんでいます。そのような店舗の経営者に対し万引対策の好事例やモデル店舗を紹介しながら、万引対策の輪を各地の店舗や行政関係者に広げていく必要があるからです。

### 2 点目は、防犯効果を高める認定機器の普及、システム運用面の支援について。

昨年4月にEAS機器に関するタグの検知測定方法の統一基準を発表しました。7月に

は「万引きさせない TOKYO キャンペーン」の協賛企画として、「万引防止システム点検のお願い」制作し、ご利用ユーザーに配布しました。その中では、ハード対策を重点においた「10のチェック項目」と「万引防止システム&万引防止運用チェック表」をご紹介し、日常の点検に活用いただいています。2月12日には「第2回生体電磁環境に関するセミナー」を開催しました。現在、技術基準委員会では、ユーザーにさらに安心して、万引防止システムをご活用いただくための「認定機器認定制度」の準備に着手しました。

### 3 点目は、製・配・販が一体となったソースタギングの推進です。

一昨年、EAS 機器の普及が進んでいない業界店舗にヒヤリング調査を行ったところ、課題の一つとして管理タグの装着作業の店舗スタッフの負荷が問題であることが分かりました。米国では管理タグが装着されている商品の4割以上がソースタギングされたものです。EASにより万引を顕在化させロス削減を図り、さらにオープン陳列による販売増の手法は、欧米の経営者にとって極めて合理的で有効な経営改善手段として認知され、製・配・販が一体となったインフラ整備が進んでいます。その事例紹介として、平成26年3月6日に開催されたセキュリティショー・ソリューションステージにて「成長の明暗を分けるグローバル小売業のソースタギング」のプレゼンを行い、好評を得ました。さらには、実現に向けて対象となる小売業団体に実証実験に関する具体的な提案を行いました。

### 4 点目は、情報の共有化で、万引犯罪の拡大を防ぐ。そのための仕組み作りです。

総務委員会では、協会ホームページに会員専用サイトを設け、「万引犯罪の詳細な対策資料」や「機器の安全利用に向けた技術情報」など重要情報を蓄積しています。全国万引犯罪防止機構の「万引防止年間チャート制作」小委員会に、当協会として委員派遣し情報の提供を行いました。結果として多くの小売業でご利用いただいております。

さらに広域で犯行に及ぶ組織的大量万引の対策を進めるための喫緊の課題として、「画像を適正に活用するためのガイドライン」が必要との意見が寄せられました。当協会としても、専任のプロジェクトチームを設け、ガイドラインを検討し、その内容を全国万引犯罪防止機構の「防犯画像の取扱いに関する調査研究小委員会」に引き継ぎました。

日本万引防止システム協会は、万引犯罪撲滅を目指す唯一のソリューション団体として、「万引犯罪をさせないお店作り」の推進を通じた地域社会の安全・安心の維持・向上こそ、「犯罪のない社会の実現」につながるとの信念の基を、所轄官庁はじめ関連諸団体のご支援をいただきながら活動して参ります。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※1 島根県ドラッグストア安全安心ネットワークの情報共有のフロー



ネットワークの流れ

※1 地域の万引犯罪防止対策活動調査報告書(調査:特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構)より

## 2. 協会の活動報告

### <理事会>

平成 25 年 5 月 9 日  
平成 25 年 6 月 10 日(総会)  
平成 25 年 7 月 11 日  
平成 25 年 9 月 12 日  
平成 25 年 11 月 9 日  
平成 26 年 1 月 23 日  
平成 26 年 3 月 20 日

### <運営委員会>

平成 25 年 4 月 18 日  
平成 25 年 7 月 11 日  
平成 25 年 9 月 12 日  
平成 25 年 11 月 9 日  
平成 26 年 1 月 23 日  
平成 26 年 3 月 20 日

## 3. 各委員会活動報告

### (1) ユーザー団体幹部との「万引犯罪防止対策会議、関係官庁よりの連絡対応

平成 25 年 5 月 28 日静岡県「万引き防止に向けた合同対策会議」へ説明員派遣  
平成 25 年 6 月 28 日「第 8 回東京万引き防止官民合同会議」への参加  
平成 25 年 9 月 9 日「第 6 回万引き防止のための防犯責任者養成講座」への講師派遣  
平成 25 年 7 月 24 日第 4 回「万引き追放 SUMMER キャンペーン」への参加  
平成 25 年 10 月 17 日「東村山署・出前型万引き防止のための防犯責任者養成講座」への委員派遣  
平成 25 年 10 月 29 日「東京都安全・安心まちづくり条例」施行 10 周年記念式典への参加  
平成 25 年 12 月 2 日社会安全フォーラム「高齢者犯罪の実態と対策」への参加  
平成 25 年 12 月 11 日「第 9 回東京万引き防止官民合同会議」への参加  
平成 25 年 12 月 12 日全国万引犯罪防止機構「万引防止年間チャート制作」小委への委員派遣  
平成 26 年 1 月 17 日全国万引犯罪防止機構「万引防止年間チャート制作」小委への委員派遣  
平成 26 年 2 月 4 日「第 7 回万引き防止のための防犯責任者養成講座」への委員派遣  
平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月までに「モデル店舗審査」5 回実施(認定 5 店舗)

### (2) 政策・研究委員会

平成 25 年 5 月 23 日、7 月 3 日、9 月 5 日、11 月 12 日、平成 25 年 1 月 16 日、3 月 13 日  
平成 25 年 10 月 EAS 使用企業のヒヤリング調査(7 社) 目的は EAS 未使用業界にあつて好事例探し。  
平成 25 年 10 月ユーザーのアンケート実態調査 **※資料:2013 年度万引防止機器ロス対策報告書**  
平成 26 年 3 月 EAS 機器の市場規模に関するアンケート調査 **※資料:2013 年 EAS 機器の市場規模に関する調査**  
15 分勉強会 「警備業務」「スプリアス規制」「海外の調査データ」「技術調査報告」「海外盗品データベース」「セキュリティケース」  
JEAS 認定制度準備委員会設置を検討と市場拡大を討議

### (3) ソースタギング推進委員会(プロジェクト)

平成 25 年 8 月 20 日、9 月 5 日、9 月 28 日、10 月 24 日、平成 25 年 3 月 6 日

セキュリティショー2014の会場で、「成長の明暗を分けるグローバル小売業のソースタギング」を開催  
チェーンドラッグストア協会への提案

#### (4)技術基準委員会(プロジェクト)

平成25年4月4日、5月15日、7月12日、9月6日、12月12日、平成26年2月13日、3月7日

- ①試験状況 2社2機種 of 干渉テストが完了
- ②EAS技術基準(検知範囲確認試験規格)の発表
- ③EAS機器の医療機器等への影響に関する基本確認と対応のHPアップ
- ④認定機器認定制の検討・規格化に向けたスケジュール立案等
- ⑤技術基準アンケートの実施と報告書作成、RFワーキング設立提案
- ⑥スプリアス規制の勉強会資料
- ⑦平成26年2月12日第2回生体電磁環境に関するセミナー開催

#### (5)RFワーキンググループ

平成25年1月22日、3月13日

- ・現状電波法の確認
- ・各国電波法の確認
- ・電波法の対応の統一及びその課題

平成26年2月21日北大の野島教授より試験方法についてご教授いただく

平成26年3月14日JQAにて試験手順確認

#### (6)防犯画像利用状況の調査委員会

平成26年2月24日

- ・ガイドラインの策定は必要と判断する(全員一致)。JEASの他社も含めて幅広く意見を募ってガイドラインを策定していく事とする。

平成26年3月19日 日本防犯設備協会との打ち合わせ

#### (7)総務委員会

平成25年5月17日、7月6日、9月4日、11月7日、12月6日、平成26年2月5日

- ・通常総会の準備と実施・会員増強の方策立案
- ・会報20号、21号の制作
- ・JEASステッカーHP制作
- ・業界で活躍する女性の紹介
- ・万引きさせないTOKYOキャンペーン協賛企画：機器の点検推進
- ・セキュリティショー2014のブース、セミナー準備
- ・会員制ホームページの新設(平成25年12月24日)
- ・ホームページのアクセス：上期前年比143%、下期前年比115%

#### <パブリシティ>

平成25年4月25日号セキュリティ産業新聞「電子商品監視装置の検知範囲確認試験規格」

平成25年6月15日号警備新報「平成25年度通常総会と講演会」

平成25年6月21日号警備保障タイムズ「平成25年度通常総会と講演会」

平成 25 年 6 月 25 日号セキュリティ産業新聞「平成 25 年度通常総会と講演会」

平成 25 年 7 月 1 日配信防犯・防災専門サイト・セキュリティナビ「平成 25 年度通常総会と講演会」

平成 25 年 7/8 月号 a&s JAPAN 電子版 「平成 25 年度 J E A S 通常総会と講演会」

平成 25 年 7 月 25 日号セキュリティ産業新聞「万引きさせない TOKYO キャンペーン」

平成 25 年 8 月 1 日号警備保障タイムズ「万引きさせない TOKYO キャンペーン」

平成 26 年 1 月 10 日号セキュリティ産業新聞「山村会長の年頭所感」

<新聞広告>

平成 26 年 1 月 10 日号セキュリティ産業新聞「新年名刺広告」

平成 26 年 2 月 25 日号警備新報の紙面上での広告（下記参照）

**日本万引防止システム協会**  
万引防止システムを製造、販売、サポートする企業の業界団体

1. 小売業界の健全な経営視点  
①万引ロス防止による収益向上のサポート  
②犯罪が起きにくい売場の提供のサポート

2. 社会貢献の視点  
①青少年の健全育成  
②地域社会全体での取り組み  
③業界全体で取り組み

3. 消費者の視点  
①万引ロスをお客様が負担している状況からの改善  
②安全・安心・快適な売場づくり

**SECURITY SHOW**  
●日本万引防止システム協会 (JEAS) は、2014 年 3 月 4 日 (火)～3 月 7 日 (金) の 4 日間、東京ビッグサイトで開催される「第 22 回セキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 2014」」へブース出展 (東 3 ホール 533532) します。  
今回は、日本万引防止システム協会の活動内容と共に、「社会総ぐるみで万引犯罪撲滅をめざそう」をコンセプトに、万引き対策の豊富なアプリケーションのご紹介を行います。  
●セキュリティショーステージでは「成長の明暗を分けるグローバル小売業のソースタギング」と題して、特別セミナー (3 月 6 日 (木) 14:20～14:50) を開催いたします。  
来場者先着 100 名様に、冊子「地域の万引犯罪防止対策活動調査報告書」を差し上げます。

**EAS の導入目的**  
※EAS とは Electronic Article Surveillance (電子式商品・物品監視) の略語です。  
1. 万引犯罪の未然防止・・・初発型犯罪の抑止効果  
2. 万引犯罪の再犯防止・・・累犯化の抑止効果  
3. 万引犯罪の集積防止・・・不正情報発生の抑止効果

EAS は米国において昭和 41 年に開発され、日本では昭和 48 年より販売を開始しました。その後、音楽 CD やゲームソフトの登場、セルフ販売の定着化や産業施設の大規模化により、EAS の必要性は高まってきております。

日本万引防止システム協会 事務局  
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-2-8 中村ビル 4 階  
TEL 03-3355-2322 FAX 03-3355-2344  
e-mail info@jeas.gr.jp URL http://www.jeas.gr.jp/

新規正会員入会 2 社：セフトHD (株)、(株)エイジス

休会 1 社：国際警備 (株)

## 4. 会員名簿

### 【正会員】

#### 企業・団体名

アイアンドティテック (株)  
IDEC システムズ&コントロールズ(株)  
ACTUNI (株)  
(株)エイジス  
(株)S-Cube  
NEC ソリューションイノベータ(株)  
エム・ケー・パビック(株)  
(株)岡村製作所  
(株)キャトルプラン  
(株)コージン  
コミー(株)  
(株)ジーネット  
シグマ(株)  
住友スリーエム(株)

#### 企業・団体名

西武産業(株)  
セコム(株)  
セフトHD(株)  
高千穂交易(株)  
タカヤ(株)  
チェスコムアドバンス(株)  
(株)チェックポイントシステムジャパン  
(株)店舗プランニング  
(株)トスカバノック  
松尾産業(株)  
ユニチカ(株)  
(株)三宅  
ユニパルス(株)

(以上 27 社)

### 【賛助会員】

#### 企業・団体名

無し

### 【特別会員】

#### 企業・団体名

公益社団法人 日本防犯設備協会  
一般社団法人 日本自動認識システム協会  
一般社団法人 全国警備業協会  
NPO 法人 全国万引犯罪防止機構  
タグ&バック事務局

※50 音順 (平成 26 年 3 月 20 日現在)



## 5. 平成 25 年度収支報告

平成25年度(第十二期)収支報告書 案

平成26年3月31日

	収入		支出	
	予算	実績	予算	実績
<b>前期繰越額</b>	<b>4,070,172</b>	<b>4,070,172</b>	<b>1. 公益事業</b>	<b>5,368,338</b>
<b>1. 公益事業</b>	<b>5,412,000</b>	<b>4,961,350</b>	(1)人件費	300,000
(1)会費収入	3,225,000	2,935,000	(2)家賃	326,028
正会員 25社	2,905,000	2,825,000	(3)事業活動費	4,134,310
賛助会員(新規) 1社	0	30,000	①旅費交通費	30,000
新規加入 1社	320,000	80,000	②通信費	220,000
(2)総会会費・新年会会費	0	0	③交際費	20,000
(3)ステッカー・POP売上	1,617,000	1,456,350	④会議費(会場費他)	40,000
(4)調査・研究受託事業(干渉試験)	570,000	570,000	⑤事務用消耗品	247,000
<b>2. 収益事業</b>	<b>0</b>	<b>28,000</b>	⑥運賃(宅配・メール便)	170,000
(1)教育事業	0	28,000	⑦印刷費(ステッカー・リーフレット)	1,108,410
(2)出版事業	0	0	⑧宣伝広告費(HP・広報)	1,705,700
<b>3. その他</b>	<b>10,000</b>	<b>13,114</b>	⑨支払手数料	20,000
(1)受取利息	0	914	⑩租税公課	200
(2)雑収	10,000	12,200	⑪雑費(講演謝礼・予備費)	0
			⑫図書費	3,000
			⑬福利厚生費	0
			⑭会費	50,000
			⑮機器評価(干渉試験)	520,000
			(4)総会費用	608,000
			<b>2. 収益事業</b>	<b>646,028</b>
			(1)人件費	300,000
			(2)家賃	326,028
			(3)収益事業等の制作費	0
			(4)予備費(講師費用)	20,000
<b>合計</b>	<b>9,492,172</b>	<b>9,072,636</b>	<b>合計</b>	<b>6,014,366</b>
			次年度繰越残高	<b>3,477,806</b>
<b>総計</b>	<b>9,492,172</b>	<b>9,072,636</b>		<b>3,824,613</b>

## 監査報告書

平成25年1月1日から平成26年3月31日までの平成26年度における会計及び業務の監査を行ない次の通り報告する。

### 1. 監査の方法の概要


- (1) 会計監査について同様並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を併用して計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事会及び理事からの業務の報告を聴取し、合同委員会に出席し、調査手続を併用して業務執行の妥当性を検討した。


### 2. 監査意見

平成25年1月1日から平成26年3月31日までの期間における本協会の収支計算書類は適正かつ正確であり、掲載すべき事項は認められたため、このように報告申し上げます。

平成26年 6月 3日

＝本しが防犯システム協会

監事 伊藤 泰賢 

監事 喜多 慎 

## (第 2 号議案) 会費の継続の件

(会費)

第 7 条の別に定める会費は 3 年間限定で、次の通りとする。

基本は万引防止システム関連の年間売上金額に応じた年会費とする。

	年間売上金額	年間会費 万円
正会員 ①	40 億円以上	30
②	20 億円以上、40 億円未満	25
③	10 億円以上、20 億円未満	20
④	5 億円以上、10 億円未満	15
⑤	3 億円以上、5 億円未満	11
⑥	1 億円以上、3 億円未満	9.5
⑦	1 億円未満	8
賛助会員		3
特別会員		無料

## (第 3 号議案) 平成 26 年度の組織、人事の件

### 1. 交代理事

理事 戸田 秀雄氏(高千穂交易株式会社)

理事 松本 剛氏(株式会社チェックポイントシステムジャパン)

### 2. 会長

戸田 秀雄氏

### 3. 副会長

三宅正光氏、松本 剛氏

上記以外の、委員長、委員については、平成 26 年度より任期 2 年で就任いただいています。

以上の人事の発令は、平成 26 年 6 月 3 日とする。

以上により、平成 26 年度組織人事は以下のとおり変更になります。

(役職) (氏名)

再任役員 (10 名)

理事 田和 久典(IDECS システムズ&コントロールズ株式会社)

理事 小原 史郎(ACTUNI 株式会社)

理事 福井 昂 (株式会社S-Cube)

理事 那谷 幸平(株式会社ジーネット)  
理事 飯田 裕一(住友スリーエム株式会社)  
理事 樋口 優平(西武産業株式会社)  
理事 田丸 典億(タカヤ株式会社)  
理事 内藤 正美(チェスコムアドバンス株式会社)  
理事 飛永 泰男(株式会社店舗プランニング)  
理事 三宅 正光(株式会社三宅)  
理事 松本 剛 (株式会社チェックポイントシステムジャパン) 交替  
理事 戸田 秀雄(高千穂交易株式会社) 交替  
監事 伊藤 和賢(松尾産業株式会社)  
監事 喜多 慎一(ユニパルス株式会社)

(50音順)

#### 委員会

1. 総務委員会

委員長：福井氏 委員：内藤氏、樋口氏、田丸氏、會田氏

2. 政策・研究委員会

委員長：金村氏 委員：小原氏、田和氏、佐久間氏、松崎氏、那谷氏、飛永氏

3. 技術基準委員会

委員長：田丸氏 委員：瀬澤氏、辻氏、多ヶ谷氏

#### プロジェクト

1. ソースタギング推進委員会

委員長：三宅氏 委員：菊地氏、佐久間氏、佐藤聖氏

2. 防犯画像利用状況の調査委員会

委員長：三宅氏 委員：新井氏、樋口氏、摺田、佐藤氏、甲斐氏、鏡沼氏

オブザーバー：川崎氏、有馬氏

3. RFワーキンググループ

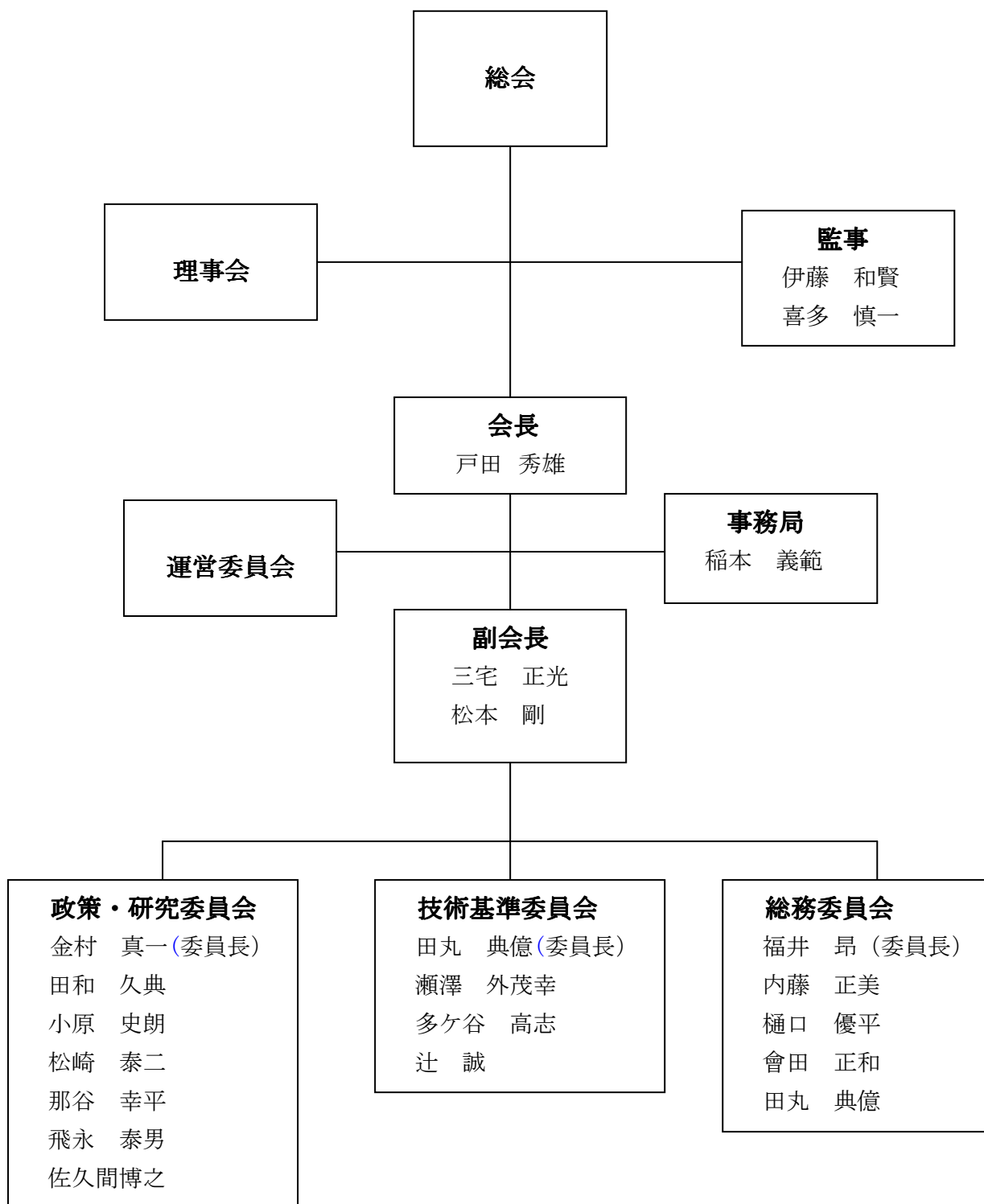
ワーキング長：辻氏、委員：甲斐氏、佐々木氏、田中氏、田丸氏、齊藤氏

(順不同)

日本万引防止システム協会役職（案）

	No	組織	社名・団体名	役職名	氏名
理事	1	会長	高千穂交易(株)	代表取締役社長	戸田秀雄
	2	副会長	(株) 三宅	代表取締役社長	三宅正光
	3	副会長	(株)チェックポイントシステム ジャパン	代表取締役社長	松本 剛
	4	政策・研究委員会	ACTUNI (株)	代表取締役社長	小原史郎
	5	政策・研究委員会	IDEC システムズ&コントロールズ(株)	取締役 セキュリティ事業部 部長	田和久典
	6	政策・研究委員会	住友スリーエム(株)	トラフィック セーフティ・セキュリティ 事業部 事業部長	飯田裕一
	7	政策・研究委員会	(株)ジーネット	セキュリティシステム部 部長	那谷幸平
	8	政策・研究委員会	(株)店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
	9	総務委員会	(株)S-Cube	顧問	福井 昂
	10	総務委員会	西武産業(株)	取締役営業部長	樋口優平
	11	総務委員会	チェスコムアドバンス(株)	常務取締役	内藤正美
	12	技術基準委員会	タカヤ(株)	事業開発本部RF事業部 営業部SS担当マネージャー	田丸典億
監事		監 事	松尾産業(株)	顧問	伊藤和賢
		監 事	ユニパルス(株)	営業本部ロジスティクス 営業部	喜多慎一

【平成 26 年度 日本万引防止システム協会組織図】（案）



## (第4号議案) 平成26年度事業計画、収支予算の件

### 1. 事業計画

#### **万引撲滅を通して犯罪の起きにくい社会の実現に向けてJEASの役割を果たそう!**

日本万引防止システム協会は、万引犯罪撲滅を目指す唯一の産業団体として、万引防止システム市場の円滑な拡大と発展を支えるための仕組みや制度づくり、万引防止システム普及のための調査研究、行政機関、各種団体、報道機関との連絡・調整等、活発な活動を繰り広げております。

本年度、当協会では、引き続き万引犯罪の抑止・撲滅を推進する活動を以下の観点で強化していく所存です。

- 1) 日本万引防止システム協会の認知度UPのためユーザー団体様や関係機関との連携強化と会員増強
- 2) 万引防止システムの理解を深めていただくための資料の配布及び事業拡大
  - ・会員共同カタログ集の作成（報告書に同封、セキュリティショーで配布等）
  - ・企業TOPや業界団体への共同提案を企画
  - ・HPやショー会場やセミナーで流す「協会宣伝用ビデオ」制作
- 3) 万引防止システムの知識向上のための研修
  - ・第3回JEAS講習会の実施（10月23日）
  - ・15分勉強会の継続
  - ・万引防止に関する資格認定制度の検討
- 4) 心臓ペースメーカーなどの医療機器を装着する皆さんに安心して買い物をしていたくための
  - ・EASステッカーやEAS導入店表示POPの普及促進
  - ・北大での干渉テストの継続実施
- 5) ソースタキングの調査研究と関係業界への働きかけ推進
- 6) 機器の信頼性アップのための対策と解除器の盗品流通の防止活動
  - ・認定万引防止システム制度の準備
- 7) 万引防止システム関係に係る関係法令に対する対応の再構築
  - ・RF方式ワーキンググループの活動
  - ・防犯画像利用状況の調査委員会の活動
- 8) 事業拡大のための万引防止システム間の連携と拡販戦略の構築
  - ・ユーザーアンケート調査報告書のダイジェスト版作成し、ユーザーに配布する
  - ・ユーザーの意思決定者への共同提案や機器のデモの実施
  - ・万引防止システム市場の調査
- 9) 所轄官庁はじめ関連諸団体との連携強化
  - ・電波及び機器に関することについては、総務省・経済産業省・厚生労働省と連携
  - ・万引防止活動に関しては、警察庁・都道府県警察・全国の万引防止団体と連携

## 2. 平成 26 年度事業予算案

### <収入予算案>

<b>前期繰越額</b>	・ ・ ・	<b>3, 824, 613</b>	
<b>1. 公益事業</b>	・ ・ ・	<b>5, 940, 800</b>	
・ 会費収入	・ ・ ・	3, 225, 000	
正会員	・ ・ ・	2, 905, 000	26社
新規加入	・ ・ ・	320, 000	7のランク4社の目標
・ ステッカー・POP売上	・ ・ ・	1, 360, 800	計1万8千枚 (H25は1万9千枚、H24は2万9千枚、H23年は1万枚)
・ 調査・研究受託事業 (機器評価)	・ ・	1, 355, 000	干渉テスト85万5千円、JQA50万円
<b>2. 収益事業</b>	・ ・ ・	<b>60, 000</b>	
・ 教育事業	・ ・ ・	60, 000	第3回JEAS講習会 (10月23日)
<b>3. その他</b>	・ ・ ・	<b>10, 000</b>	
・ 雑収	・ ・ ・	10, 000	ハンドブック第3版販売
<b>今期収入計</b>	・ ・ ・	<b>6, 010, 800</b>	
<b>収入計 (前期繰越金含む)</b>	・ ・ ・	<b>9, 835, 413</b>	

### <支出予算案>

<b>1. 公益事業</b>	・ ・ ・	<b>5, 610, 046</b>	
(1) 人件費	・ ・ ・	300, 000	
(2) 家賃	・ ・ ・	502, 646	
(3) 事業活動費	・ ・ ・	4, 307, 400	
・ 旅費交通費	・ ・ ・	30, 000	新規会員の加入促進のため
・ 通信費	・ ・ ・	190, 000	回線使用料4万9千円、電話代12万1千円、切手代1万円、別納郵便1万円
・ 交際費	・ ・ ・	20, 000	手土産代
・ 会議費 (会場費他)	・ ・ ・	60, 000	理事会会場費
・ 事務用消耗品	・ ・ ・	150, 000	コピー代10万3千円、文具1万4千円 会計ソフト3万円、廃棄費3千円
・ 運賃	・ ・ ・	220, 000	ゆうメール便、宅配
・ 印刷費 (ステッカー・リーフレット)	・ ・ ・	856, 120	ステッカーとPOP制作55万円、封筒6万4千円、 パンフレット5万3千円、実態調査印刷6万5千円、市場調査印刷6万5千円、会員証9千円、ソースタギング資料2万円、



・ 宣伝広告費（HP・広報・調査）	・・・ 1,399,080	JEAS基準説明書3万円他 22号23号会報21万円、HP更新5万円 SECショー28万5千円、市場調査31万円、 セキュリティ産業新聞広告3万2千円、記事 使用料約4千円、会員商品カタログ制 作20万8千円、協会ビデオ制作30万円 他
・ 支払手数料	・・・ 20,000	
・ 租税公課	・・・ 400	
・ 図書費	・・・ 69,800	セキュリティ産業新聞他
・ 会費	・・・ 62,000	万防機構年会費5万円他
・ 機器評価（干渉試験）	・・・ 1,230,000	北大干渉テスト78万円、JQA45万円
(4) 総会費用	・・・ 500,000	会場費40万円、お車代10万円、ほか
<b>2. 収益事業</b>	<b>・・・ 852,646</b>	
(1) 人件費	・・・ 300,000	
(2) 家賃	・・・ 502,646	
(3) 収益事業等の制作費	・・・ 30,000	
(4) 予備費	・・・ 20,000	
<b>合計</b>	<b>・・・ 6,462,692</b>	

平成26年度(第十三期)予算案

収入			支出		
	(昨年度実績参考値)	予算		(昨年度実績参考値)	予算
<b>前期繰越額</b>	<b>4,070,172</b>	<b>3,824,613</b>	<b>1. 公益事業</b>	<b>4,601,995</b>	<b>5,610,046</b>
<b>1. 公益事業</b>	<b>4,961,350</b>	<b>5,940,800</b>	(1)人件費	300,000	300,000
(1)会費収入	2,935,000	3,225,000	(2)家賃	326,028	502,646
正会員 26社	2,825,000	2,905,000	(3)事業活動費	3,394,017	4,307,400
賛助会員 0社	30,000	0	①旅費交通費	11,900	30,000
新規加入 7のランク4社の目標	80,000	320,000	②通信費	163,027	190,000
(2)総会会費・新年会会費	0	0	③交際費	0	20,000
(3)ステッカー・POP売上	1,456,350	1,360,800	④会議費(会場費他)	53,345	60,000
(3)調査・研究受託事業(干渉試験)	570,000	1,355,000	⑤事務用消耗品	239,288	150,000
<b>2. 収益事業</b>	<b>28,000</b>	<b>60,000</b>	⑥運賃(宅配・メール便)	180,578	220,000
(1)教育事業	28,000	60,000	⑦印刷費(ステッカー・リーフレット)	613,870	856,120
(2)出版事業	0	0	⑧宣伝広告費(HP・広報・調査)	1,531,565	1,399,080
<b>3. その他</b>	<b>13,114</b>	<b>10,000</b>	⑨支払手数料	12,600	20,000
(1)受取利息	914	0	⑩租税公課	0	400
(2)雑収	12,200	10,000	⑪雑費	0	0
			⑫図書費	5,844	69,800
			⑬福利厚生費	0	0
			⑭会費	62,000	62,000
			⑮機器評価(干渉試験など)	520,000	1,230,000
			(4)総会費用	581,950	500,000
			<b>2. 収益事業</b>	<b>646,028</b>	<b>852,646</b>
			(1)人件費	300,000	300,000
			(2)家賃	326,028	502,646
			(3)収益事業等の制作費	0	30,000
			(4)予備費	20,000	20,000
<b>合計</b>	<b>9,072,636</b>	<b>9,835,413</b>	<b>合計</b>	<b>5,248,023</b>	<b>6,462,692</b>
			次年度繰越残高	<b>3,824,613</b>	<b>3,372,721</b>
<b>総計</b>	<b>9,072,636</b>	<b>9,835,413</b>		<b>9,072,636</b>	<b>9,835,413</b>